

金融マンは対話で世界を変える



熱金

熱い金融マン協会

第54回

ZOOMオンライン

# 対話研究会

2025年8月20日（水）19:30～21:30

課題図書 「開かれた対話と未来」

著者 ヤーコ・セイックラ+トム・アーンキル  
監訳 斎藤環

【参加申込】 <https://taiwaken54.peatix.com/>



事務局：金融経営研究所  
madoguchi@kinken.biz

参加費 無料

- ①本研究会はボランティアで運営しています。
- ②運営へのご協力をお願いします。



オープンダイアログ  
これが決定版!

フィンランドの創始者ふたりによるガイド、待望の翻訳!

医学書院 \ 懇切の日本語版解説25頁! /



Jaakko Seikkula Tom Erik Arnkil

# 勉強会の目的と運営

- ①目的：対話の理論とノウハウを吸収する。  
（金融機関内部、金融機関と顧客、金融機関と当局との対話のあり方？）
- ②**読書会（原則）**：課題図書の要旨説明（持ち回り）と対話。
- ③日程：**毎月第3水曜日**の19：30～（ZOOMオンライン）
- ④参加条件：**課題図書をチラッと**はみてくる。運営に協力。
- ⑤運営方法：参加無料。**全員ボランティア**。FBで毎回記録を作る。
- ⑥要旨説明者：**持ち回り**。毎回最後に次回の要旨説明者等を決めます

## 事務連絡

- ①**録画**します（全体のみ。個別対話は録画しません）。
- ②**記録への協力**のお願い
  - ・研究会終了時に感想等をFB記録ページに。
- ③**本日の資料**は対話研究会のHPに掲載

# お約束

1. 他の人の話は、この場以外では秘密にしよう
2. 心に浮かんだことを声に出そう  
(かっこ悪くてOK。意見を合わせなくてOK)
3. 異なる意見を受け止めよう

# 本日の次第

1. 事務連絡＋解説
2. 要旨説明（山口省蔵）
3. 感想・対話
4. 事務連絡

# 開かれた対話と未来 ～ 今この瞬間に他者を思いやる ～



①対話を探究する本（ちょっと哲学的）  
「オープンダイアログ」と「未来語り」の  
経験がベースにされている

②基本テーマは「他者性の尊重」

オープンダイアログ  
これが決定版!

フィンランドの創始者ふたりによるガイド、待望の翻訳!

医学書院 \ 懇切の日本語版解説25頁! /



Jaakko Seikkula Tom Erik Arkkil

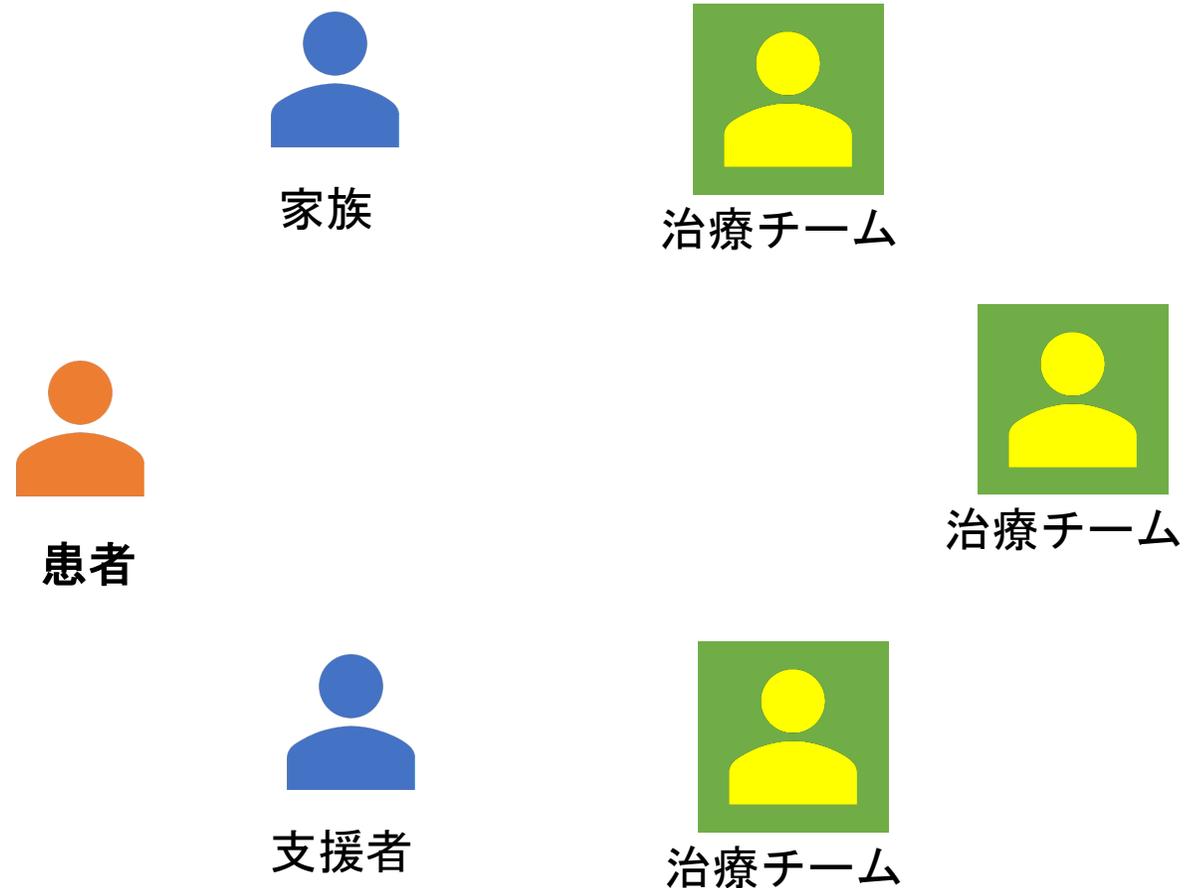
# 「開かれた対話と未来」 目次

はじめに		本の目的→対話性＝他者性の尊重
第1章	クライアントとともに不確実性のなかに飛び込もう	オープンダイアログ＋未来語り
第2章	<b>心配事</b> があるなら早めに対話をしよう	心配事、コントロール、専門家からの相談
第3章	<b>オープンダイアログ</b> －対話実践への道	オープンダイアログの7原則等
第4章	<b>未来語り</b> ダイアログ－研究手法の臨床応用	未来語り概要
第5章	<b>他者</b> との対話において	他者性。
第6章	対話は <b>音楽</b> だ	傾聴と応答。ポリフォニー。間主観性
第7章	対話における <b>応答</b> の意味	幻覚の話への応答
第8章	対話実践の <b>文化</b> を広める	縦割りを超える。ミクロコスモス
第9章	対話実践の <b>調査研究</b>	エビデンスベースでの検証等
第10章	対話的な <b>未来</b> へ	非対話組織への浸透

# キーワード

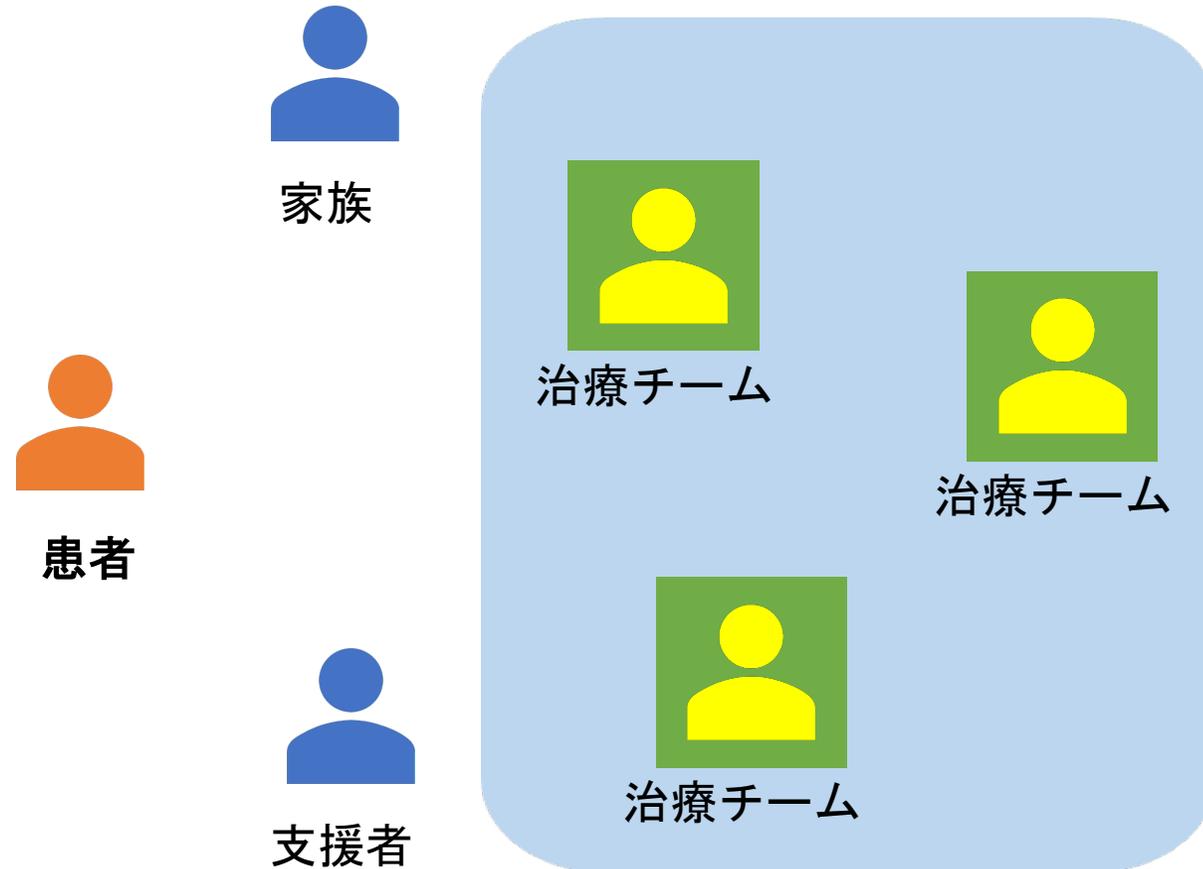
対話性	他者性の尊重。他者を変えようとはしない姿勢。人間を関係性ネットワークのなかにある存在として捉える姿勢。
他者性	人間は互いに異質で、お互いの理解を超えた存在であること
他者性の尊重	他者が自分とは異なることを肯定的に捉えること（違っていいのだ！）
ポリフォニー	多声性。人々の意見が様々に分かれることを肯定的に捉えた概念（水平的多声性）。自分の内面にある様々なペルソナ（父、息子、従業員、市民等）による多様な声を聴く場合にも使う（垂直的多声性）
関係性（社会的、社交） ネットワーク	つながりがある人々のネットワーク（例：患者と家族と支援者）
間主観性	複数の主観（個人的なものの見方や感じ方）が、互いに影響し合い、共有されること

# オープンダイアログの特徴...聴くことと話すことの分離



①関係者が語るターン...治療チームは傾聴

# オープンダイアログの特徴...関係者への傾聴とリフレクティング



②リフレクティング...治療チームだけで話す

# オープンダイアログのポイント

7原則	12基本要素
①即時対応	①本人のことは本人のいないところでは決めない
②社会的ネットワークの視点	②答えのない不確かな状況に耐える
③柔軟性と機動性	③継続的に担当する2人のスタッフを選ぶ
④責任を持つこと	④つながりのある人を最初からミーティングに招く
⑤心理的連続性	⑤開かれた質問からはじめる
⑥不確実性に耐える	⑥クライアントの語りのすべてに耳を傾け、応答する
⑦対話主義	⑦今まさに起きていることに焦点を当てる
	⑧様々な物の見方を尊重し、多様な視点を引き出す
	⑨お互いの人間関係をめぐる反応や気持ちを大切に扱う
	⑩一見問題のある言動も意味のある反応と捉える
	⑪クライアントの言葉や物語に耳を傾ける
	⑫リフレクティングの時間をとる

# 未来語りダイアログ

参加者	ファシリ (2人) と関係者	<p>①ファシリテータ (外部の人) …インタビュー役と書記役          ②関係者…本人、家族、友人、支援専門家などの社交ネットワーク</p>
第一段階	インタビュー	<p>(本人、家族への問い)</p> <p>① <b>すべてがうまくいった</b>今の状態をどんなふうに感じていますか？          ②あなたはどんなことを行い、誰に助けられ、どうやって今の状態までいたったのでしょうか？          ③当時、あなたを悩ませていたものは何だったのでしょうか？何があなたの悩みをやわらげてくれたのでしょうか？</p> <p>(支援者への問い)</p> <p>①この良い状態を続けるためにあなたは何をしましたか？誰がどんなふうに助けてくれましたか？          ②当時、あなたを悩ませていたものは何だったのでしょうか？何があなたの悩みをやわらげてくれたのでしょうか？</p>
第二段階	具体的計画	誰が、誰と、何を行うか？

**各章で心に残った部分？**

**疑問・感想？**

**他者性の重視について感じた経験？**

**本人のいる場所で本人の話をするることについて  
どんなことを感じますか？**

第55回

ZOOMオンライン

# 対話研究会

2025年9月17日（水）19:30～21:30

課題図書「**惱脳（のうのう）と生きる**」

著者 **中野信子**

【参加申込】<https://taiwaken53.peatix.com/>



事務局：金融経営研究所  
madoguchi@kinken.biz

**参加費 無料**

- ①本研究会はボランティアで運営しています。
- ②運営へのご協力をお願いします。



以上です

ありがとうございました。

本資料に関する照会は、以下までお願いします。

株式会社金融経営研究所

山口省蔵

〒1510051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-30-9Kビル

メールアドレス：shozo@kinken.biz

電話：0353856216



<https://atsukin.kinken.biz/>

**熱金**  
熱い金融マン協会